

〈神戸支部〉  
職員と学生との  
コミュニケーションの場  
——「神戸大学ランチオンタイム」——

神戸大学学務部では、平成一六年六月から部長、課長、室長五〜六名と学生二〇名とのランチオンタイムを実施している。

ランチオンタイムとは、「ランチ オン タイム」の英語読みの発音のことで、まさにランチを食べながら話そうということから名づけられた。

開催日は原則毎月一回水曜日とし、試験期間、休暇は除き開催している。

場所は、学務部がある大学教育研究センター棟の二階ロビーで、周りには学生向けの掲示板もあり、多くの学生が頻りに往來するオープンな一角である。

ランチオンタイムを立ち上げた背景は、学生とのコミュニケーションを一層深めようとの考えからであった。現在、学務部は学務課、学生生活課、入試課、共通教育課に分かれており、また、同部署には就職支援室があり、それぞれ

の窓口で学生との対応にあたっている。

各課・室の窓口以外で他の学生との代表といえれば自治会組織があげられるが、現在神戸大学内には存在しない。残る代表的な学生との窓口といえれば各クラブ、サークルがあげられる。しかし、もっと身近でもっと本音で語れる場を作ろう。しかも窓口では話さない学生の本音を聞きだしたい。そのことが今後の学生ニーズを捉え大学の学生サービスの拡大にも反映させていけるのでは、との発想からであった。

学生へのランチは無料で提供することとしたが、経費は当然認められるはずもなく、部長、課長のポケットマネーによる捻出で、二〇名分のランチ（お茶付）を毎回準備している。強力な味方として大学教育研究センター一階の神戸大学生協にも協力を得ている。

開始早々当時は、直接学生に声をかけてのスタートだった。無料でランチを準備していることもあり、すぐに集まると考えていたが、声をかけてもかけても逃げて行き、遠目でも何をやっているのかと覗き見る学生が多く、参加学生を集める苦労があった。



参加してもおとなしく、物怖じしている学生が多かったが、最近では意見交換も活発になり、最初の苦労が嘘のように和気藹々の雰囲気となった。広く学内に告知する予定の行事や内容についても、事前に「こういういった行事や内容を予定しているのだけど」と言うと、「今度宣伝しておきま

す」と学生も気軽に協力してくれる。最近では、あつという間に二〇名に達する等の状況が続いている。こういったところにも今の若者像を垣間見ることが出来る。

学生からは「知らない人とも話が出来て参加してよかった」「ランチオンタイム。また来ます」「思ったより堅苦しくなかった」「気安く話せた」「たまには良いかなと思った」等の感想が寄せられている。



ランチオンタイム テーマ一覧

- 2004年6月16日(水) 考えよう! これでもいいのか? 君の学生生活! 超特大テーブルを囲んで! 何と20人近い学生と部長、課長が熱く語る!
- 2004年6月23日(水) 考えよう! これでもいいのか? 君の学生生活! 今日一日! 何を考えるか。そして明日は? 全学共通授業科目について
- 2004年6月30日(水) 本日のテーマ:「学生生活とアメニティ」快適空間はどうしたらできるか? 神戸大学的快適空間とは?
- 2004年7月7日(水) 本日のテーマ:就職とは? 働くとは? 仕事とは? 「キャリア」って何?
- 2004年10月13日(水) 秋だ! 元気だ! 新学期! さあ、今が一番いい季節! 勉強スポーツちょっと恋 本日のテーマ:本日はフリーターキングで。
- 2004年11月17日(水) この季節! じっくり勉強、流そう汗を。 さあ、今が一番「快適季節!」「勉強スポーツバッチリ充電!」 本日のテーマ:本日もフリーターキングで。
- 2004年12月8日(水) 本日のテーマ:学生生活実態調査
- 2005年1月8日(水) 本日のテーマ:フリーターキング

和気藹々の雰囲気とはいえ、やはり話題の中心は、学生からの要望が大半であった。「履修科目登録の上限設定(キヤップ制)の廃止」、「コンビニの設置」、「ATMを増やしてほしい」、「ロッカーを設置してほしい」、「食堂をもっと広くしてほしい」、「空調設備のない教室や実験室もあるので整備して欲しい」などが挙げられた。平成一七年度も引き続き開催していく予定であるが、今後は学生の要望をどのように反映させていくかが課題となる。

今後はランチオンタイム以外にも気軽に各課の窓口足運んでもらえるきめ細かい学生サービスができればと考えている。